＜関川村立関川小学校　第十六回卒業証書授与式＞

告　　辞

春の訪れを感じる今日のよき日、関川村立関川小学校、第十六回卒業証書授与式にあたり、教育委員会を代表し、お祝いの言葉を申し上げます。

ただいま卒業証書を手にされた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日までお子さんを深い愛情で育ててこられた保護者の皆様に心からお祝いを申し上げます。

さて、皆さんが小学校に入学した頃、日本中が大きな不安の中にありました。新型コロナウィルスの感染拡大が進み、これまで当たり前だった学校生活が大きく変わりました。友達と自由に遊ぶことや、みんなで学ぶことさえ難しい日々が続きました。それでも皆さんは、仲間と励まし合いながら、一日一日を大切に過ごして今日という日を迎えました。皆さんの頑張りを心から讃えたいと思います。

三月は私たち日本人にとって忘れることのできない日があります。三月十一日。東日本大震災から十五年が経ちました。昨年、宮城県石巻市、旧大川小学校の震災遺構を訪れました。津波で壊された校舎の前に立った時、そこにあったはずの子どもたちの笑顔や日常を思い、胸がいっぱいになりました。そして、改めて強く感じたのは、命の大切さでした。今日こうして皆さんが元気に卒業の日を迎えること。友達と笑い合い、学び合いながら成長できたこと。それは決して当たり前のことではなく、本当に尊いことなのです。どうか皆さんはこれからも、命を大切にし、人を思いやる心を忘れないでください。

保護者の皆様、六年前、大きなランドセルを背負い入学したお子さんも今日こうして立派に卒業の日を迎えられました。その成長の陰には、どんな時も見守り、支え続けてこられた、皆様の深い愛情があったからと思います。今日のお子さんの姿は、その愛情の何よりの証です。心より感謝と敬意を表します。

また、これまで子どもたちのために親身になって、日々の教育に力を尽くされた伊藤校長先生をはじめ、教職員の皆様に深く感謝申し上げます。さらに、子どもたちを温かく見守ってくださった地域の皆様にも、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

辺り一面の雪も解け、田や野に春の息吹を感じるようになりました。空には白鳥が翼を広げ、遠い地へと飛び立っていきます。卒業生の皆さんも、今日ここに新たな決意を胸に、中学校や中学部等へと進学していきます。その先には様々な挑戦が待っていることでしょう。しかし、どうか失敗を怖がらず、ぶつかっていってください。皆さんは関川村の未来をつくる大切な宝。皆が応援しています。

皆さんのこれからの歩みが、希望と幸せに満ちたものでありますことを心から願い、教育委員会の告辞といたします。おめでとうございました。

令和八年三月二十四日

関川村教育長　**津野　庄一郎**